

日本赤十字社は、新型コロナウイルス感染症から皆様の大切な命を守るために全力を尽くして活動しています。

新型コロナウイルス感染症について、緊急事態宣言が解除され、新たな感染予防の取り組みが行われている中、千葉県赤十字奉仕団は、病院・献血・県民を支えるための活動を続けています。日本赤十字社千葉県支部・成田赤十字病院・千葉県赤十字血液センターにおいても、継続的な医療支援やこころのケアなどの活動を通じて、県民の皆様の命と健康、日常の生活を守るための活動を続けています。



ICUで懸命に治療にあたる医師



防護服を着て現場に急ぐ看護師

成田赤十字病院

～すでに3ヶ月以上続いているこの戦い

命を守る最前線で引き続き安心・安全な医療を提供してまいります～

成田赤十字病院は、全国に4病院しかない特定感染症指定医療機関として、その役割を果たすべく、行政等からの依頼により、新型コロナウイルス感染症の患者さんを受け入れ対応しています。

現場スタッフは、終わりが見えない現実に向きあいながら、万全の感染防止対策、充実した医療体制の下で、患者さんのため日々懸命に治療にあたっています。

また、本来の役割である地域に根ざした医療提供体制も維持しながら、患者さんの命と健康を守るため、職員が一丸となって、最善の努力を尽くしております。

病院を支える

成田赤十字病院ボランティア会

不足している衛生材料を補うため活動するボランティア

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により衛生材料が不足していることから、成田赤十字病院ボランティア会では、感染予防の徹底を図りながら、アイシールドの組み立てやアームカバーの作成を行っています。

作成したアイシールドやアームカバーは、成田赤十字病院で新型コロナウイルス感染症の治療にあたる医療従事者が使用しています。



アームカバーを作成するボランティア

献血を支える

東金市赤十字奉仕団

外出自粛により献血者が減少する中 献血協力を呼びかけ、血液確保に貢献

外出自粛の要請により、献血者数が減少し続けている状況の中、東金市赤十字奉仕団が事前に熱心な働き掛けを行っていた結果、4月3日の東金市役所で行われた献血会場には106人もの協力者にご来場いただき、血液確保に大きく貢献いただきました。



感染防止対策を行いながら献血を実施



県民（市民・地域）を支える

子どもたちのために手作りマスクを作製

勝浦市赤十字奉仕団

勝浦市赤十字奉仕団では、市老人クラブ連合会や教育委員会と相談し、子供たちのためのマスク作りに取り組みました。

布などの材料は市内の縫製会社から無償提供を受けて、奉仕団員が自宅で作業を行い、計850枚のマスクを作製しました。市老人会連合会などと合わせて計2,200枚のマスクを市内の園児や小中学生全員に贈りました。



君津市赤十字奉仕団

君津市赤十字奉仕団が手作りマスク 700枚を君津市に寄贈しました。君津市赤十字奉仕団では、奉仕団員がマスク 700枚を作製。5月18日に君津市赤十字奉仕団の林委員長から君津市の石井宏子市長に手渡しました。

このマスクは、教育委員会から学校を通じて、君津市内小学校の新1年生全員に配布されています。



引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための活動に取り組んでいきます。

5月25日に緊急事態宣言が解除されましたが、まだ新型コロナウイルス感染症が終息したわけではありません。

日本赤十字社千葉県支部・成田赤十字病院・千葉県赤十字血液センターは、これからも新型コロナウイルスが終息するまで万全の対応が取れるように備えていくとともに、県民の皆様の大切な命と健康、日常の生活を守るための活動を続けてまいります。

